

(4) 第 3 部 市政全般に関する意見交換 (要旨)

1. 大木の伐採・不法投棄について

【ご意見】

陽和会病院前のサクラの大木が、ある日突然切られた。地域住民の中では、同病院の出入りの利便のために切ったのではないかという声がたくさんあった。市に伺ったところ、樹医の診断から危険性があるので伐採したという見解で、私自身は納得したが、現場には説明がない。あの大きな切り口の上を利用して、この木はこういう理由で切り、将来はこのように処理しますという説明を書いてほしい。



次に、不法投棄について、パークタウンにも大きなテレビが捨ててある。これに、注意書きとして黒いステッカーが張ってある。それが張ったままで、長いこと処理されないため、市に伺ったところ、このあとの段階で、今度は赤いステッカーを張ると言われた。最初の黒いステッカーは、ごみ回収の業者が張るということでわかったが、そのあとをどうするかわからない。今後、どのように処理をするのか教えてほしい。

2. タウンミーティングのあり方について

【ご意見】

緑町コミセンでのタウンミーティングは2回目であるが、前回は、参加者の30名くらいの方が、いろんな問題を提示して、それが報告書にまとめて掲載されているが、今回は、既にテーマが決まり、これを中心に意見交換を行っている。これまでの約20回のタウンミーティングの中で、やり方がどう変わってきたのか。市長の方から、これまでの経験を参考にして、テーマを各地域の特性に沿ったものに絞ってほしいという指示があったかどうか。今回の方法では、いつも同じ方が長く発言している。もっと身近な問題で困っている方がたくさんいるかもしれない。できるだけ、多くの方の意見を聞きたいと思うが、これについて市長のご意見を聞かせてほしい。

【市長】

サクラの木については、160本の中で11本を伐採することは、事前に案内板を出して周知しましたが、陽和会の前回の桜については、枯れたこともあり、倒木が大変心配をされたことから、周知期間が多少足りなかったと思います。今後、伐採する前には、この木は間もなく切りますという情報提供をしたいと思います。

タウンミーティングのあり方については、一巡目もそうですが、コミュニティ協議会と市との共催ですので、協議会と市でどういうやり方にするのか議論をして決定をしています。二巡目についても、トップバッターが吉祥寺南町コミセンの皆さんで、同協議会の方からの意見があり、あまり広範な意見交換にすると議論が少し薄くなるということで、吉祥寺南町

としての課題に絞って、それを集中的に意見交換したいという申し出がありました。今回の緑町コミセンについても、協議会の皆さんと市の担当で相談したところ、今ある課題に集中した方が、議論が深まるということになりました。確かに、いろんな課題を市長に言いたいと思って来られた方がいらっしゃると思いますので、もし時間があれば後ほど伺いますし、アンケート用紙があろうかと思しますので、そこに記載をしていただければ、報告書の中でお答えをします。今日に限らず、要望等ありましたら、ぜひ市に申し出てください。

【三輪環境政策担当部長】

不法投棄については、粗大ごみもあれば、ポイ捨てのようなものもあります。これらについては、ダメですというチラシを張っています。問題となっているテレビについては、原則論を言いますと、敷地(民地)の中にあるものは、その所有者の責任で片付けていただいています。道路上については、市が管理していることから、市が片付けますが、すぐに処理するのではなく、不法投棄はダメですという市の考えをはっきりさせておきたいことから、一定期間ステッカーを張っています。ただ、危険性がある場合は、すぐに片付けます。ご質問のように不法投棄をされた場合にどうしたらいいかなど、何かありましたら市のごみ総合対策課にご連絡ください。不法投棄されたものを判断して、対応したいと思います。また、場合によっては、パークタウンを管理する都市再生機構などにもお話しします。

クリーンセンターで展示の話がありましたが、現在、クリーンセンターの3階が、見学者ホールになっています。以前、その隣は、西庁舎を新しく建てるために、ごみ総合対策課が仮住まいしていましたが、庁舎が完成したことから、場所が少し空きましたので、そこにクリーンセンター建設から今までの経緯などをパネルにして、見やすくしようということで、近々、施設を設けさせていただきます。



3. 違法駐輪対策について

【ご意見】

武蔵野市に生まれて60年ここに住み、一番好きなまちであるが、一つだけ不安なことがある。緑町に限らず、武蔵野市全域において、自転車の違法駐輪には、非常に困っている。私は、会社を吉祥寺南町の末広通りでやっている。この末広通りが舗装され、きれいになり歩道ができたが、その歩道の至るところに違法駐輪があり、歩道を歩けない状況である。やむなく車道を歩くしかなく、私自身、非常に危険な目に遭った経験もある。ぜひ、違法駐輪の取り締まりを強化してほしい。

4. 災害時の難聴者対策・大木の維持・市役所駐車場について

【ご意見】

聴覚障害者に、リュックなどを身に付けてもらい、自分は聴覚障害者ということがわかる

ような方策がないか。これをお持ちの方は、災害のときにみんなが親切にするという方策ができないか。

市内には、私有地の中に立っている大木がたくさんある。これを維持するのに、10年で100万単位の金がかかるが、これを公金で管理ができないだろうか。

市役所北西の入口は、進入禁止の表示があるが、公用車だけは入っていいということが小さく書かれてあるが、市役所の車だけが出入りできるのは勝手ではないか。

5. 大型スーパーの出店について

【ご意見】

サミット出店に伴う問題で、深夜1時まで営業するということと、100台の駐車場を設けるということについて、市では、これを停止することは難しいことと思うが、働く人やその地域に影響することを緑懇話会や市で再度検討してほしい。

【市長】

自転車問題については、大きな課題となっています。市としても、違法駐輪対策の体制を整えています。すべてをカバーできていない状況にあります。これからも自転車の違法駐輪や駐輪場の問題、暴走自転車対策等も含めて、大いに取り組みを進めていきます。

大木の保全について、市内にある多くの大木はほとんど私有地の中にありますので、保存樹木等の指定をすれば、ある一定の微々たる額ですが、年間数千円の補助金を出すことができます。これについては、お金を出すということだけではなくて、地域の皆さんの協力が不可欠だと思いますので、例えば、この木は、皆さんが協力をして維持をするだとか、アダプト制度（※）なども他の地域を参考にしながら研究して、どのような形で大木の保全が適正に可能なのか検討していきたいと思います。

市役所北西の入口は、その先が公用車の駐車場になっていることから、今まではそういう扱いになっていると思いますが、それは再度確認してみます。

サミット問題については、営業規制をすることは、市として難しい面ではありますが、環境・安全の面については、市で対応していきたいと思っておりますし、これから、地域の皆さんの声を聞きながら、協働をしていくことにより、厳しく調整指導していきたいと思っております。

（※）アダプト制度…アダプトとは「養子縁組をする」という意味で、地域住民や企業、団体等が、身近な道路や公園緑地などの里親となって、維持管理や美化活動などを担う制度です。